

～山梨県立美術館のあゆみ～

Part 1：美術館誕生！-開館までの記録-



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

～山梨県立美術館のあゆみ～では、
昭和53（1978）年に開館した山梨県立美術館の足跡を、
館に残る記録写真とともに辿ります。

美術館建設が決定したのは昭和48（1973）年。
開館に向けての5年間、建設場所や建築設計、予算、
コレクション内容など、多くのことを検討・決定しました。
Part 1では、「美術館誕生！-開館までの記録-」と題し、
山梨県立美術館誕生までの資料を紹介します。

※本資料は「山梨県立美術館開館40周年記念 コレクション企画展 山梨県立美術館物語 40年間のストーリー&ヒストリー」（会期：2018年1月2日～3月4日）に際して刊行したリーフレットを再編集したものです。

昭和52（1977）年4月13日



美術館建設予定地で地鎮祭が行われました。
当時の山梨県知事の田辺国男氏らが出席し、
工事の安全と館の繁栄を祈願しました。

昭和53（1978）年1月6日



2階ロビー



エントランスホール

美術館の設計は、前川國男建築設計事務所が行いました。
建設が着々と進む中、当時の田辺知事、千澤楨治顧問（のちの初代館長）、
佐々木英也顧問が視察に訪れました。

昭和53（1978）年6月



美術館の庭園の造営も同時に進行しました。
富士山を背景とした庭づくりは山梨県ならではのものになりました。

昭和53（1978）年8月



ヘンリー・ムーア《四つに分かれた横たわる人体》が美術館正面に設置されました。公開を前に保護材で覆われています。

昭和53（1978）年10月18日



ミレー 《種をまく人》

一般公開に先立ち、コレクションの核を担うこととなるジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》と《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い》が報道陣に公開されました。

昭和53（1978）年10月18日



ミレー 《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い》

《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い》も報道陣に囲まれました。

昭和53（1978）年11月3日
山梨県立美術館、誕生！



美術館をいち早く見ようと、初日には多くのお客様がご来館されました。
徹夜で待つ人など、開館時間までには約400人が行列をつくりました。

昭和53（1978）年11月3日



ミレー《種をまく人》、《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い》などを初めて一般公開しました。当時の新聞によると、「素朴な絵」という感想が一番多かったそうです。

昭和53（1978）年11月3日



初めての企画展「ヨーロッパの風景画」も開幕しました。
国立西洋美術館との共同主催で、
国内外所蔵の西洋絵画86点を紹介しました。

～山梨県立美術館のあゆみ～ Part 1はここまで。

Part 2以降では開館後の様々な出来事をご紹介します。



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art